



このマークは社会福祉協議会の「社」を図案化し、「手を取りあって、明るくあわせな社会を建設する姿」を表現しています。

いわき市 社会福祉協議会だより

第108号
平成25年9月20日発行
編集・発行
社会福祉法人
いわき市社会福祉協議会
広報委員会
いわき市平字菱川町1番地の3
(いわき市社会福祉センター内)
TEL0246-23-3320 FAX0246-35-5031
ホームページ www.iwaki-shakyo.com
メールアドレス master@iwaki-shakyo.com

地域の福祉、みんなで参加!



市内各地での街頭募金

目次

共同募金にご協力をお願いいたします	2
役立てました共同募金 報告します	3
平成24年度いわき市社会福祉協議会事業報告・決算	
住民支え合い活動を支援します!!	4～5
ボランティア活動センター通信	6
社協通信	7
地区協議会だより	8

愛ちゃんと希望くん



© 中央共同募金会
共同募金会イメージキャラクター



共同募金にご協力を
お願いいたします。



社会福祉法人
福島県共同募金会
いわき市共同募金委員会
会長 小野 清十

今年度も、「地域の福祉、みんなで参加」のスローガンのもと、十月一日から、全国一斉に「赤い羽根共同募金運動」が展開されます。

この運動は、市民一人ひとりが赤い羽根共同募金を通じて社会福祉活動にご参加いただき、皆様からお寄せいただいた善意の寄付金を、福祉施設をはじめNPO、ボランティア団体等へ助成することで、地域における福祉活動の充実を図るものであります。

さらに、県内の各被災地で活動するボランティア団体等による復興支援活動や地元住民による助け合い活動などの住民支え合い活動への助成もされています。

共同募金委員会は、「たすけあいの精神」を基調として、地域に住む住民の皆様方と共に手を携えながら、様々な地域福祉の課題解決に取り組むとともに、民間団体を支援していきけるよう、今後ともより一層努力してまいります。今年も皆様の温かいご支援とご協力をお願いいたします。



平成25年度 いわき市の目標額

赤い羽根共同募金 5,616万9,000円
歳末たすけあい募金 2,612万0,000円

- 赤い羽根共同募金は、一戸あたり500円を目安としております。
- 歳末たすけあい募金は、一戸あたり300円を目安としております。

共同募金に目標額があるのは、共同募金が民間社会福祉施設、団体の施設整備や福祉事業に配分することを目的として、使いみちの計画を立ててから行う計画募金だからです。



※共同募金（歳末たすけあい募金を含む）は、社会福祉法に定められている民間の募金活動です。募金期間は厚生労働大臣の告示により10月1日から12月31日までの3カ月と定められています。

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金 住民支え合い活動助成」のご案内

福島県民同士による支え合い活動やボランティア活動の輪を広め、人々のつながりや被災地域、避難地域居住者のコミュニティ再興などに取り組む団体の支援を目的に助成事業を行います。皆さんが持つチカラを地域のために活かしてみませんか。

- 対象団体 福島県在住者5名以上で構成されているボランティアグループやNPO法人等の非営利団体
- 対象活動 平成25年度に実施する助け合い活動及びボランティア活動



詳しくは 福島県共同募金会 ☎ 024-522-0822
いわき市共同募金委員会 ☎ 23-3320 (代)まで！

もっと知ってほしい話がたくさん
赤い羽根のホームページはこちら

<http://www8.ocn.ne.jp/~akaihane/>

赤い羽根ふくしま

検索

役立てました 共同募金

平成
24年度

赤い羽根共同募金 5,499万5,655円
歳末たすけあい募金 2,612万1,093円

※お寄せいただいた募金は、一旦福島県共同募金会に集約された後、県の配分委員会の審議を経て、県内の福祉施設や福祉団体などへ配分される仕組みとなっています。



© 中央共同募金会

●赤い羽根共同募金の使われ方●

いわき市には、総額 46,456 千円が配分されました。

①安心して利用しやすい福祉施設づくりとして14施設へ19,350千円が配分されました。 (単位：千円)

受配施設名	配分額	配分金の使途	受配施設名	配分額	配分金の使途
いわき育英舎	2,490	車両購入費	アルケン	1,230	車両購入費
いわき光成園	1,820	車両購入費	カナン村	3,000	ボイラー整備費
悠々の里	1,960	車両購入費	地域活動支援センターチャオ	250	小規模障がい者施設運営費
福祉サービス事業所かがやき	2,350	車両購入費	わいわい作業所	250	小規模障がい者施設運営費
アライブ	2,490	車両購入費	好間作業所	250	小規模障がい者施設運営費
あい一番	1,600	車両購入費	てらす	250	小規模障がい者施設運営費
ワークショップあいあい	1,210	車両購入費	まごころワーク	200	小規模障がい者施設運営費

②福祉活動を推進する団体への支援として
2団体に680千円が配分されました。 (単位：千円)

受配団体名	配分額	配分金の使途
いわき市障がい者職親会	500	就職促進DVD制作事業
いわき傾聴ボランティアのみみ	180	スキルアップ講座

③市町村社会福祉協議会活動を推進するために
26,201千円が配分されました。 (単位：千円)

受配団体名	配分額	配分金の使途
いわき市社会福祉協議会	26,201	地域福祉活動・在宅サービス事業など

ありがとう
メッセージ

車両整備で活動が安全で迅速に

特定非営利活動法人
ワークショップあいあい

赤い羽根共同募金の配分を受け、利用者、職員一同大喜びで歓声があがりました。

これまで使用していた車両は10年目を迎え、故障が続いており、施設外での行事の実施にも不便を感じておりました。

しかし、これらの不安も解消し、送迎に、配達に、利用者の家庭訪問にと迅速な活動ができるようになりました。利用者の皆さんも新しい車両にのり、新車の乗り心地を満喫しています。



私たちも今まで以上に赤い羽根共同募金への理解を深め、微力ながら協力して参りたいと思います。感謝の気持ちを忘れず大切に使用し、活動の場を広げていきます。本当にありがとうございました。

④非常災害や緊急事態に対する見舞金として罹災者^{りさい}に225千円が贈られました。 (単位：千円)

配分などの区分	配分額	配分金の使途
災害見舞金	225	火災や水害の罹災者 ^{りさい} への見舞金（火災21件、床上浸水2件）

●歳末たすけあい募金の使われ方●

いわき市には、総額21,454千円が配分され、市内の低所得者世帯などの皆様へ届けられました。 (単位：千円)

配分などの区分	配分額	配分金の使途
見舞金	13,714	生活困窮世帯（979世帯）＊在宅のひとり暮らし高齢者、障がい者、ひとり親世帯など
地域福祉事業	7,740	防水シーツ（341世帯）や高齢者世帯への健康情報カレンダー配布など

実施した主な事業

- 小地域福祉活動の推進
市内19行政区（4, 988世帯）指定
- 福祉総合相談センター事業
一般相談件数：1, 508件
無料法律相談件数：78件
- いきいきデイクラブ事業
市内96箇所を実施
実施回数：1, 057回
延利用者数：16, 905人
- 子育てサロン事業
実施箇所数：22カ所
実施回数：239回
延参加組数：2, 755組
- 地域子育て支援拠点事業
延利用者数：大人2, 395人
子人2, 574人
- 福祉活動支援バス借上げ助成事業
相談件数：37件
助成団体数：14団体

報告します

平成24年度事業報告・決算

平成24年度の事業推進にあたりましては、第2次地域福祉活動計画に基づき、「誰もが住み慣れた地域で安全で安心して暮らし続けることができる地域社会」の実現に向けて、関係機関・団体などの協働のもとに地域に密着した福祉サービスの拡充に努めるとともに、適正な予算執行に努めました。

★地域福祉事業

★ボランティア活動センター事業

- ボランティア活動センター機能
児童・生徒向け高齢者疑似体験等
参加児童・生徒数：3, 556人
- ボランティア講座
ボランティア講演会：参加者数：142人
福祉レクリエーションボランティアの養成
延参加人数：62人（5日間）
- 子育て支援ボランティアの育成支援
子育てサロンボランティア研修会参加者数：66人
- サマーショートボランティアスクール
参加学校数：11校
参加学生数：96人

★福祉人材確保事業

- 福祉人材センター協力指定事業
福祉の仕事相談会相談件数：25件
福祉の就職総合フェアへの協力

★在宅福祉サービス事業

- 在宅身体障がい者訪問入浴サービス事業
延利用者数：151人（656回）
- 日常生活自立支援事業
24年度契約件数：4件（利用人数27人）
- 車椅子同乗移送用自動車の貸し出し
利用件数：51件
- ひとり暮らし高齢者等への緊急連絡カード
配備事業
配備者数：5, 010人

● 子育て支援情報誌配布事業

発行部数：5, 000部

★共同募金運動の推進

- 赤い羽根共同募金運動の推進
募金実績額：5, 499万5, 655円

● 歳末たすけあい運動の推進

募金実績額：2, 612万1, 093円

★各種資金貸付事業

- 生活資金・生活福祉資金の貸し付け
生活資金貸付件数：109件
（総額 2, 305万1, 000円）
生活福祉資金貸付件数：169件
（総額 459万2, 300円）

★介護保険事業

- 居宅介護支援事業
延利用者数：3, 389人
- 訪問入浴介護事業
延利用者数：937人（3, 727回）
- 訪問介護事業
延利用者数：1, 268人（16, 431回）

● 訪問介護事業

- 介護予防訪問介護事業
延利用者数：755人（4, 918回）

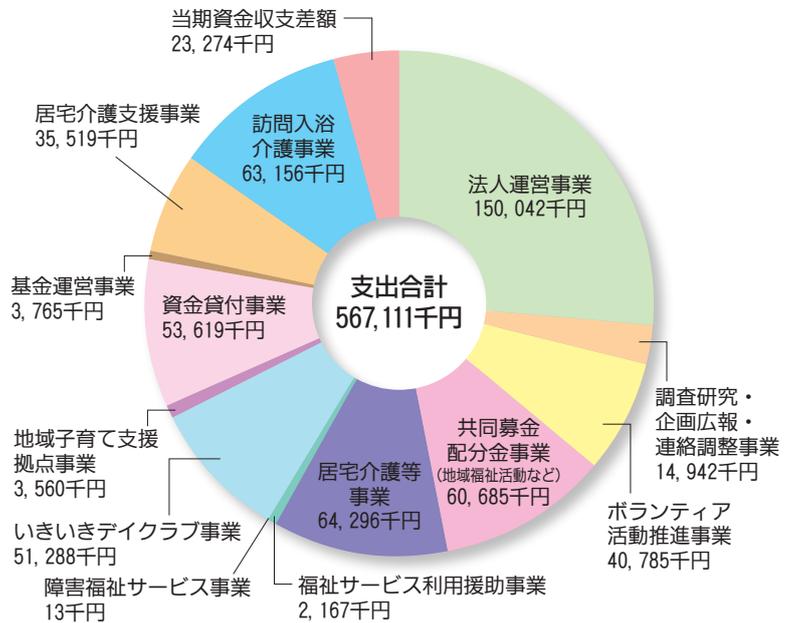
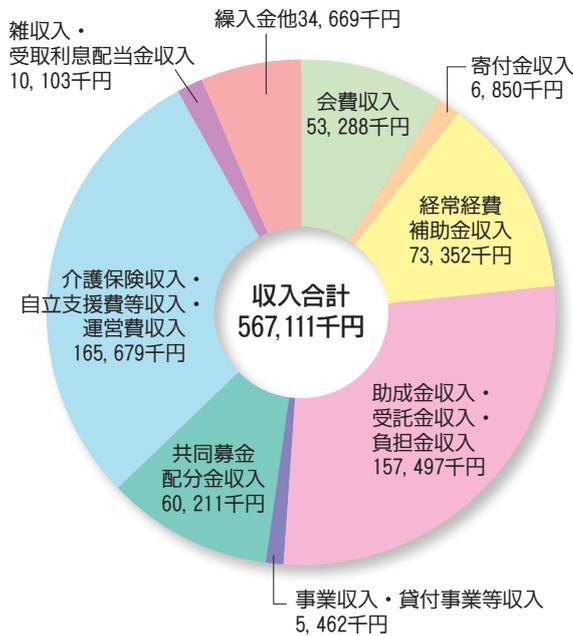
★被災者支援事業

- 災害救援・復興支援
ボランティア活動センターの設置
ボランティア活動者数：54, 539人
ニーズ受付件数：7, 319件
マッチング件数：7, 258件
- 生活支援相談員配置事業
生活支援相談員配置状況：25人
対象世帯数：2, 159世帯
延訪問状況：45, 139件
交流会実施回数：524回

● 津波被災地域高齢者の交流と健康づくり事業

実施回数：141回
延参加者数：3, 373人

平成24年度 収入・支出のあらまし



住民支え合い活動を支援します!!

災害時等要援護者マップ作成事業

災害時等要援護者マップ作成事業は、地域の関係機関・団体等の協力を得ながら災害時に援護を要する方や日常的に支援を要する方（緊急連絡カードを配備しているひとり暮らし高齢者世帯等）の住宅や、避難所の場所、周辺の活用可能な医療・福祉施設等、避難方法、民生委員さん、区長さん等や地域の支援者の方等を標記した地図を作成し、地域住民が自主的に支え合いながら、支援していく仕組みづくりを進めるものです。

市内13地区において現在座談会を開催し、住民の皆さんの参加により、話し合いの場を持ち、地域福祉マップづくりを行っております。



マップづくりで地域の福祉課題を把握



熱心に地域について議論を展開

活用方法

- ① 地域内の災害時要援護者等を地図上で確認し、関係者間で情報を共有するとともに、支援者等の災害時の役割分担を明確にします。
- ② 地域住民などの気づきにより、災害時のみならず、平常時から地域の中での見守り活動に活用していきます。
- ③ 災害に備えて避難訓練等でマップを活用し避難ルートを確認します。

ボランティア活動センター通信

◆◆◆◆◆ 第23回サマーショートボランティアスクールを開催!! ◆◆◆◆◆

今年で23回目を迎えたこのスクールは、夏休み期間を利用し、高校生の皆さんに、市内の福祉施設等でボランティア活動を体験する機会を提供し、「人との出会い・体験」を通して、自分自身の生き方・人間や社会を見つめる力を育み、自分たちの住む地域社会の現状や課題を理解していただくことを目的に開催しております。

今年、市内14の高等学校から116名の高校生が参加し、34の福祉施設等で開校式を含め、4日間の体験活動を行いました。

最後に、この体験の場を提供していただきました34施設等の皆様、ご多忙中にも関わらず、本当に温かく学生たちを受け入れてくださったことに厚くお礼申し上げます。



園児と触れ合う高校生

●活動先福祉施設のご紹介

救護施設 やしおみ荘	特別養護老人ホーム 幸寿苑	特別養護老人ホーム はなまる共和国
特別養護老人ホーム 亀齢荘	特別養護老人ホーム かしま荘	特別養護老人ホーム いわさき荘
特別養護老人ホーム 聖徳荘	特別養護老人ホーム 楽寿荘	老人保健施設 ヘルスケアホームいわき
老人保健施設 小名浜ときわ苑	老人保健施設 サンライフゆもと	老人保健施設 グループホームサンファミリー
障がい者支援施設 野の花ホーム	障がい者支援施設 はまなす荘	障がい者支援施設 福祉サービス事業所ポポロ
障がい者支援施設 アルケン&アルケンⅡ	障がい者支援施設 なないろくれよんテイルーム	障がい者支援施設 いわき光成園
障がい者支援施設 のはら	障がい者支援施設 つばさ	障がい者支援施設 あとりえ・北山
障がい者支援施設 虹のかけはし	障がい者支援施設 セカンドハウスわくわく	独立行政法人国立病院機構いわき病院
白土保育所	夏井保育所	本町保育所
古湊保育所	菊田保育所	山田保育所
川部保育所	常磐第一保育園	勿来地区ボランティア連絡会 特定非営利活動法人 ザ・ピープル

●参加高等学校

磐城第一高等学校	東日本国際大学附属昌平高等学校	いわき光洋高等学校	いわき翠の杜高等学校
磐城高等学校	いわき総合高等学校	平工業高等学校	平商業高等学校
勿来工業高等学校	湯本高等学校	好間高等学校	四倉高等学校
翔洋学園高等学校	双葉翔陽高等学校		

(順不同、敬称は省略させていただきました)

福祉レクリエーションボランティア入門講座

受講者募集!!

今、地域の子育て支援や介護予防を進めるうえで「福祉レクリエーション」が重要視されています。皆さんも福祉レクリエーションを学んで、社会参加や生きがいづくりに挑戦してみませんか!

場 所: いわき市社会福祉センター
定 員: 25名 (定員になり次第締め切ります)
対 象: 地域活動に関心があり、全日程受講できる方
講 師: 七海 多美子氏 (福祉レクリエーションワーカー)

カリキュラム

回	月 日	内 容 (予定)
1	11月 6日(水)	講義「福祉領域になぜレクリエーションが必要なのか」
2	11月13日(水)	実技「コミュニケーションワーク」
3	11月20日(水)	実技「レクリエーション活動」
4	11月27日(水)	実践「施設でレクリエーション活動」
5	12月 4日(水)	「ふりかえり」と「まとめ」

※開始時間はすべて午後2時からとなります。

申込方法: 住所・氏名・年齢・性別・電話番号をご記入の上、郵便またはFAX、Eメールにてお申込みください。
 〒970-8026 いわき市平字菱川町1番地の3 TEL:38-6631
 FAX:38-6632 Eメール:saigai-vc@iwaki-shakyo.com

ボランティア講演会を開催!!

平成25年7月28日(日)、これからボランティアを始めてみたいと考えている方など、120名が講演会に参加しました。

NHK手話ニュースキャスターの中野佐世子氏を講師に招き、「心のバリアをはずして」と題して、障がいを持つ方や支援が必要な方への接し方のポイントとして、正しい知識を持つことで人は優しくなれるということ、身近な事例を交えながら教えていただきました。

参加者は、この講演会をとおして、ボランティアという枠にとらわれない「人へのやさしさ」を学ぶことができました。



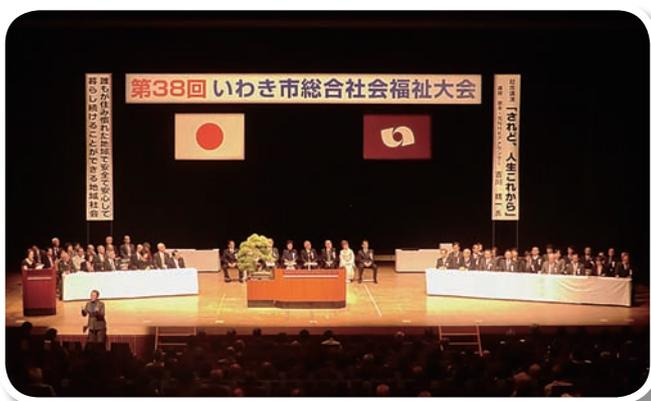
第39回

いわき市総合社会福祉大会へどうぞ!!

社協通信

いわき市といわき市社会福祉協議会の共催により、福祉施設・団体・ボランティアなど福祉関係者及び市民の方々が一堂に会して、いわき市の福祉を高めていく「いわき市総合社会福祉大会」を次の日程で開催いたします。

市民の皆様も、ぜひご参加ください。



●開催日時

平成25年10月16日（水） 午後1時30分から

●会場

いわき芸術文化交流館アリオス 大ホール
（いわき市平字三崎1番地の6）

●大会内容

◇表彰・感謝状贈呈

- *いわき市長感謝
- *社会福祉大会会長
表彰・感謝



◇記念講演

- *テーマ「震災報道の現場から
～家族のつながり、今大切なこと～」

講師 TBSテレビ報道局

解説・専門記者室長
すきお ひてや
杉尾 秀哉 氏

職員募集

平成26年度正規職員を募集します。

- ◆募集人員 若干名（事務職）
- ◆資格要件 昭和54年4月2日以降に生まれた方で、社会福祉士の有資格者又は、平成26年3月までに社会福祉士資格取得見込者
- ◆採用予定日 平成26年4月1日
- 応募方法等は次のとおりです。**
- ◆受付期間 平成25年9月24日（火）から平成25年10月31日（木）まで
- ◆試験及び試験日 一次試験（一般教養試験・小論文）平成25年11月10日（日）
二次試験（面接）
※一次試験合格者のみ
平成25年12月1日（日）
- ◆応募先 いわき市社会福祉協議会 企画総務課（☎23-3320）

※詳細は、いわき市社会福祉協議会ホームページでもご覧いただけます。

福祉の仕事を目指すあなたと 福祉の職場を結びます

「福祉の職場で働きたい!」「資格取得方法を知りたい!」そんな方はお気軽に福島県福祉人材センターへご相談ください

福島県福祉人材センターは、法律に基づく公的な機関で、福祉の仕事を探している方と、人材を求めている福祉の職場（社会福祉施設等）との橋渡しの役割を担っています。

福祉の仕事相談会

求職登録の受付や各種相談に応じます。

- ◆日時：毎月第2水曜日
※相談受付時間10:00～15:00
- ◆会場：いわき市社会福祉センター
（いわき市平字菱川町1番地の3）

詳しくは
社会福祉法人福島県社会福祉協議会
人材研修課 福祉人材センター
☎024-521-5662

[<http://www.fukushimakenshakyō.or.jp>]



地区協議会だより

いわき市社会福祉協議会は、市内13地区（平、小名浜、勿来、常磐、内郷、四倉、遠野、小川、好間、三和、田人、川前、久之浜・大久）に地区協議会を設置し、『誰もが安心して暮らせるまちづくり』を基本目標に、地域住民の福祉ニーズに合った様々な事業を実施しています。

◆小名浜地区協議会（健康料理教室）



毎日の食事による認知症予防の観点から、「いきいき栄養教室」を小名浜公民館調理室で開催しました。当日は、24名が参加し、認知症を防ぐバランスのとれた調理の実践と講話を聞き、食事の大切さと、認知症についての知識の向上を図りました。

◇詳しくは、小名浜地区協議会 ☎54-2111(代)まで

◆勿来地区協議会（青少年福祉体験学習）



高齢者や障がいをもった方々に対する理解と関心を高めるため、勿来一中3年生を対象に福祉体験学習を実施しました。シニア体験・車いす・視覚障がいの体験を通して、地域でともに生きていくための優しさの大切さを気づく機会になりました。

◇詳しくは、勿来地区協議会 ☎63-2111(代)まで

◆遠野地区協議会（子育てサロン）



親子で一緒に遊びリフレッシュすることを目的に、主任児童委員・民生委員・ボランティアの協力のもと、毎月第4月曜日に上遠野公民館で開催しています。今回は竹を使って流しそうめんを行い参加者同士の交流を深め、楽しく過ごしました。

◇詳しくは、遠野地区協議会 ☎89-2111(代)まで

◆小川地区協議会（健康体操教室）



介護問題がさらに深刻化する中、健康でいきいきとした生活が続けられるよう、介護予防の知識を深めることを目的に、身体の運動機能を高める健康体操教室を全4回コースで開催しています。参加者は、お互いに交流を図りながら、健康維持に努めています。

◇詳しくは、小川地区協議会 ☎83-1111(代)まで

◆地域福祉支援員活動紹介◆



◆平地区

現在各地区では、「地域福祉マップ」作成のために座談会を開催する準備を進めています。平地区でも地域の状況を調査し、区長さんに事業説明をさせて頂いているところです。

「地域福祉マップの作成」が目的ではなく、地域の課題を見つけ、改善していくにはどうすればいいかを住民の皆さんが主体となり、一緒に考えていきたいと思ひます。



◆四倉・久之浜・大久地区

区長さん民生委員さんを始め、地域住民の方々が中心となり、地域の情報を共有し話し合いを進めました。座談会を開催することで、地域の現状や課題について再確認することができました。

今後も、住民の方々が支え合い、安心して暮らせる地域づくりを目指して、四倉地区、久之浜・大久地区の方と携わってまいりたいと思ひます。



この夏は、ゲリラ豪雨など自然の猛威を思い知らされるニュースが多く飛び込んできました。実りの秋を迎えようとしていますが、それぞれの地域で自然を感じながら、安心安全の生活を願うばかりです。 広報委員一同

皆様の声をお待ちしています!

いわき市社会福祉協議会では、市民の皆様の声をお待ちしています。手紙、電子メールでお気軽にお寄せください。
住所：いわき市平字菱川町1番地の3（いわき市社会福祉センター内）

ホームページ ▶ www.iwaki-shakyo.com
メールアドレス ▶ master@iwaki-shakyo.com



いわき市協
ホームページ